

事業所名

奈良県障害者総合支援センター
わかくさ愛育園

支援プログラム

作成日

令和

7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		【法人】障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。													
支援方針		様々な遊びを経験し成功体験を重ねることを通して、親子関係を築き、情緒の安定を図り、生活習慣の確立、運動発達、集団参加を促し、コミュニケーション手段の獲得等を促します。													
営業時間		9 時		分から		17 時		分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	安全安心な環境を提供し、通園することで健康状態の維持、改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援し、食事、排泄、衣服の着脱、身の回りの清潔等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援を行ないます。また、健康な生活の基本となる食べる力の育成に努め、楽しく食事ができるように、口腔内の機能・感覚等に配慮しながら、訓練士とも連携して捕食、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行ないます。													
	運動・感覚	こどもの特性や発達段階に応じた、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚、固有覚等の感覚を活用できる遊びの中で、体を動かす意欲を引き出し、日常生活を送る上で必要となる姿勢保持や移動、運動動作等の身体機能の向上を目指します。													
	認知・行動	玩具や教具を使用した遊びや好きなこと、興味を活かした活動を通して、見る、聞く、触るという行動を促し、物との関わりを豊かにすることで、物事への注目、理解につなげていきます。													
	言語 コミュニケーション	こどもにとって理解しやすい情報を整理し、こどもの伝えたいという気持ちを育みながら、こどもが安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いて、丁寧なやりとりを行ないます。													
	人間関係 社会性	特定の大人が関わるなかで築いた信頼関係を築きます。慣れ親しんだ大人や友だちと楽しく関わる経験を通して、相手に気づき、自ら関わろうとする力を育て、社会性を高めていけるよう支援します。													
家族支援		連絡帳のやり取りや引き継ぎの機会を通して、日々の療育の様子や支援方法について、保護者と情報共有を行ない、要望や必要に応じて個別相談を実施します。また、親子保育を実施し、保護者が我が子への理解を深められるよう支援します。						移行支援		こどもにとって最善の選択ができるよう、研修会、個別懇談等を実施し、また、関係機関と連携を図り支援します。					
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援や、こども地域支援事業を実施し関係機関と連携を図ることで、障害に関する理解を促し、インクルーシブ社会の実現につながるよう支援します。また、支援者向け研修会を実施し、地域支援、地域連携の強化を図ります。						職員の質の向上		施設内研修、外部研修、療育前後のミーティングやケース会議の定期開催を通して療育支援の質の向上を図ります。					
主な行事等		誕生会、七夕、水遊び、遠足、クリスマス会、豆まき、ひな祭り、保育参観など													